



1921年(大正10年)府立東京商工奨励館として設立された都産技研は
2021年に100周年を迎えます。
「変わる産業 変わらない使命」というコンセプトのもと、次の100年へ向け
志を新たに皆さまとともに歩み続ける都産技研を目指します。



地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター 設立100周年記念



都産技研 設立100周年記念イベント ご案内

変わる産業 変わらない使命

都産技研設立100周年記念イベント 参加方法のご案内

記念講演会 13:30~16:30 講演内容については、中面をご確認ください。

●リアル参加ご希望の方はこちら
(記念講演会のみ)

受付期間:11月22日(月)18:00まで
お申込受付は先着順とし、定員となり次第締め切りとさせていただきます。
<https://iri-tokyo100years.eventcloudmix.com/entry>



申込定員
50名

●オンライン参加ご希望の方はこちら
(記念式典、記念講演会)

「都産技研 設立100周年記念事業プロジェクト特設サイト」にて
どなたでも視聴いただけます。

●100周年記念事業プロジェクト特設サイト

100周年に向けたメッセージや、都産技研100年の歩みを振り返る
動画コンテンツなどを掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.iri-tokyo.jp/site/100years/>



会場アクセス〈東京ビッグサイト〉

〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1

電車

●りんかい線「国際展示場駅」より徒歩約7分

JR山手線 JR湘南新宿ライン JR埼京線	大崎	りんかい線 14分	国際展示場	りんかい線 5分	新木場	JR京葉線 東京メトロ有楽町線
-----------------------------	----	--------------	-------	-------------	-----	--------------------

●ゆりかもめ「東京ビッグサイト駅」より徒歩約3分

JR山手線 JR京浜東北線 JR東海道線 JR横須賀線 東京メトロ銀座線 都営浅草線	新橋	ゆりかもめ 22分	東京ビッグサイト	ゆりかもめ 8分	豊洲	東京メトロ有楽町線
---	----	--------------	----------	-------------	----	-----------

バス

東京駅	都05-2系統 東京駅丸の内南口(勝どき駅前経由)	約40分	東京ビッグサイト
門前仲町	東16系統 東京駅八重洲口(豊洲駅前経由)	約20分	豊洲駅
	門19系統 門前仲町(豊洲駅前経由)	約15分	豊洲駅

Info. 都産技研の原点である府立東京商工奨励館の設立に関わった渋沢栄一の生涯を描くNHK大河ドラマ「青天を衝け」
NHK大河ドラマ『青天を衝け』展はNHKサービスセンターが実施いたします。

NHK大河ドラマ 『青天を衝け』展

入場無料

番組紹介パネルや吉沢 亮(渋沢栄一役)等身大パネル、衣装、小道具を展示いたします。

〈期間〉11月12日(金)~22日(月)

〈時間〉平日9:00~17:00(土日は休館)

〈場所〉テレコムセンター駅前 都産技研本部
都産技研 本部1Fロビー

〈期間〉11月24日(水)~26日(金)

〈時間〉10:00~18:00(最終日は17:00まで)

〈場所〉産業交流展2021内 次世代ロボットゾーン
設立100周年記念講演会会場 横



お問い合わせ

<https://www.iri-tokyo.jp>

地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター 企画部経営企画室広報係
Tel: 03-5530-2521 Fax: 03-5530-2536 mail: koho@iri-tokyo.jp





東京都立産業技術研究センター ビジョン2050

— 変わる産業 変わらない使命 —

今後の未来に向けて、都産技研が目指す4つの社会やあるべき姿を示した「ビジョン2050」を策定しました。

すべての人が活躍できる社会

自由にコミュニケーションできる社会

「自分らしい幸福」を感じられる社会

環境の変化に適応できる社会

東京都立産業技術研究センター 設立100周年記念イベント

参加方法 / 裏面「設立100周年記念 イベント参加方法のご案内」をご確認ください。

設立100周年 記念式典 12:00~12:50 / メインステージ

当日の式典の様子はリアルタイム配信いたします。



都産技研の設立100周年を記念する式典を行います。記念式典では、オープニングムービーによる100年の歩みの紹介、来賓の方々のご挨拶のほか、都産技研をご利用いただきながら製品開発に意欲的に取り組む都内中小企業の表彰式を行います。オンラインにてご覧いただけます。

都産技研表彰 - INNOVATION PARTNERSHIP AWARD - 表彰式

都産技研が、今年で設立100周年を迎えるのを契機に、都産技研が実施している技術支援や研究開発事業などを通じて PARTNERSHIPを築いていただいた企業の皆様に感謝の意を表すとともに、東京におけるイノベーション創出の機運を高めていくための表彰制度です。

設立100周年記念展示

都産技研の100年の軌跡や100周年記念事業の活動を、動画やパネルの展示などでご紹介します。

> 都産技研の歩み

大正、昭和、平成、令和と続く都産技研100年の歴史の変遷と尽力した偉人達をご紹介します。

> これからの都産技研

これからの未来に向けて策定した、都産技研が目指す社会や姿を示した「ビジョン2050」についてご説明します。

> 都産技研の今と昔

変わる産業 変わらない使命 というコンセプトの中で、産技研の“今”と“昔”を庁舎の変遷、理念を通じてご紹介します。

> 設立100周年プロジェクトの活動

設立100周年に際し、都産技研の活動と理事長からの挨拶をご紹介します。

次世代ロボットゾーン

11月25日(土)~26日(日)開催

中小企業と、都産技研が共同開発した、生活や仕事に役立つロボットを展示します。実演・デモにより実際にロボットを体験いただけます。



新型自律移動案内ロボット Libra

設立100周年 記念講演会 13:30~16:30 / 次世代ロボットゾーン

13:30~14:30 基調講演

テーマ 「日本のモノづくりの過去・現在、その先へ」

講演者 鈴木 一義氏 (国立科学博物館 産業技術史資料情報センター長)

プロフィール：1987年より国立科学博物館理工学研究所、2014年から現職。研究対象は、日本における技術の発展過程。特に江戸時代から現代にかけての技術の発展状況を、博物館的な実物資料の視点から実証的な見地で調査、研究。経済産業省「ものづくり日本大賞」選考委員、文化庁「文化審議会文化財分科会世界文化遺産特別委員会ワーキンググループ」委員、「トヨタ産業技術記念館」展示監修委員など。



15:00~15:10 設立100周年記念事業プロジェクト紹介

設立100周年を迎える都産技研は、1921年、大正時代に設立された府立東京商工奨励館に端を発します。都産技研では、100周年を新たな飛躍の契機とするため「変わる産業 変わらない使命」をコンセプトに掲げ、100周年記念事業として実施しているプロジェクトをご紹介します。

15:10~16:30 パネルディスカッション

テーマ 「産業の発展と都産技研の役割」

パネリスト



鈴木 一義氏 国立科学博物館 産業技術史資料情報センター長

プロフィール：1987年より国立科学博物館理工学研究所、2014年から現職。研究対象は、日本における技術の発展過程。特に江戸時代から現代にかけての技術の発展状況を、博物館的な実物資料の視点から実証的な見地で調査、研究。経済産業省「ものづくり日本大賞」選考委員、文化庁「文化審議会文化財分科会世界文化遺産特別委員会ワーキンググループ」委員、「トヨタ産業技術記念館」展示監修委員など。



中石 真一路氏 ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社 代表取締役 聴覚カウンセラー/ジェントロジスト

プロフィール：1973年東京都生まれ、熊本県育ち。熊本YMCA専門学校建築科卒業。携帯電話にQRコードリーダーを入れるなどプランナーとしての実績をもつ。前職のEMIミュージック・ジャパンにて約3年に亘る研究の末対話支援機器「コミュニケーション」を発明。2012年4月にユニバーサル・サウンドデザイン株式会社を設立。聴覚科学総合研究所所長として聴覚と脳に関する研究に携わる。国際医療福祉大学大学院 福祉支援工学分野 研究生。

ファシリテーター：竹田 忠氏 NHK解説委員



松橋 卓司氏 株式会社メトロール 代表取締役社長

プロフィール：1958年生まれ。日本大学農獣医学部卒。1980年大学卒業後、大手食品メーカーに入社、1998年 株式会社メトロールに入社、「精密位置決め」に特化したセンサーメーカーとして、工業用高精度センサの開発・製造・販売。2009年 代表取締役社長に就任。経済産業省が主催する「IT経営力大賞 経済産業大臣賞」(2012)、東京都産業労働局が実施する「東京都ベンチャー技術大賞 優秀賞」(2015)、東京都経営革新優秀賞(2018)のほか、数多くの受賞歴あり。

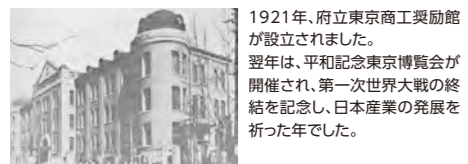


奥村 次徳氏 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター理事長

プロフィール：1951年生まれ。東京大学卒、工学博士。IBMワトソンリサーチセンター、東京都立大学教授を経て、首都大学東京副学長、公立大学法人首都大学東京理事を歴任。2016年4月より、(地独)東京都立産業技術研究センター理事長に就任。

都産技研100年の歴史

1921年 大正10年10月 府立東京商工奨励館設立 (東京都立工業奨励館の前身)



1921年、府立東京商工奨励館が設立されました。翌年は、平和記念東京博覧会が開催され、第一次世界大戦の終結を記念し、日本産業の発展を祈った年でした。

1927年 昭和2年3月 東京府立染織試験場設立 (東京都立繊維工業試験場の前身)



1927年、東京府立染織試験場が設立されました。

1970年 昭和45年12月 東京都立工業技術センター



1970年、東京都立工業奨励館と東京都電気研究所を統合し、東京都立工業技術センターが設立されました。

2000年 平成12年4月 東京都立産業技術研究所と 東京都立繊維工業試験場を統合

1997年 平成9年4月 東京都立産業技術研究所

2010年 平成22年2月 多摩テクノプラザ開設

2006年 平成18年4月 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター



2006年、地方独立行政法人へ移行し、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターが設立されました。この時代は何と云ってもリーマン・ショックによる世界的な金融危機です。このページをご覧の方々の中にも、大きな影響を受けた方も多くと思います。

2011年 平成23年10月 本館を江東区青海に移転



2011年、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターは、本館を江東区青海に移転しました。

2021年 令和3年11月 設立100周年

1921年 大正 1924年 1927年 昭和

1959年

1970年

平成

1997年 2000年

2006年

2010年

2011年

2015年

令和

2021年

1924年 大正13年8月 東京市電気研究所設立 (東京都電気研究所の前身)



1959年 昭和34年7月 東京都立アイソトープ総合研究所設立



1959年、東京都立アイソトープ総合研究所が設立されました。国民所得倍増計画の発表、黒部ダム の竣工、東京オリンピックの開催など、日本の高度経済成長を感じさせる時代でした。

2010年 平成22年2月 多摩テクノプラザ開設



2015年 平成27年4月 バンコク支所開設



2021年 令和3年4月 食品技術センターと統合

